

# オーストラリア・ビクトリア大学 帰国後アンケート 2022

回答者(英語コミュニケーション学科)

## 学習について

① 授業について (人数・国籍・内容で印象に残っていることなど)
1 クラス 10~15 名くらい、日本人のほかに、ベトナム、コロンビア、パキスタン、インドネシア人がいた。 全体的に日本人は多かった。年齢は 17~30 歳、男女比は同じくらい。 ゲームを使って学習する方法など、楽しみながら勉強ができた。質問しやすい環境だった。特にライティングを重視していると感じ、実際に伸びた。
② 教科書について(全期間でどの程度の費用がかかりました?)
教科書代は事前に支払い済
③ クラスメイトや先生との交流はどうでしたか?
オリエンテーションの大学探検で早速友達ができ、さらにイベントなどが多く、そこでも友達がたくさんできた。 毎日、先生と 1 対 1 でスピーキングをする機会があり、どの先生も優しく、わからないことは、丁寧に説明してくれた。
④ 留学先の行事について
昼休みが 2 時間になったので、いろいろイベントを企画してくれた。VUEnglish 主催のメルボルンチャレンジは、留学生同士でグループになり、一緒に問題を解くもので、楽しかった。どのイベントも日本人の参加率が多い。 大学の部活動も参加することができ、現地の学生と友達になれた。
⑤ その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
留学前に、もっと英語の勉強をしておけばよかった、と思った。最初は、何も聞き取れず、何も話せず、苦痛だった。 また、日本についてもっと勉強しておけばよかった。

## 生活について

① ホームステイ先の自分の部屋・間取りなどについて
一人部屋。シャワーとトイレは留学生用のものがある。 他に、日本人女子留学生が入替わり同居し、常時 2 人の留学生を受け入れていた。
② ハウスルールについて
洗濯は週 1 回、他は特になし。 ドアの閉め方の注意を受けたことがあり、その後は注意するようにし、トラブルにはならなかった。
③ ホストファミリーについて
50 代の夫婦、成人した娘、息子。 日本で食べたことのない料理がたくさん出てきた。それがきっかけで、会話が弾んだ。 朝は自分で作り、夕食は作ってくれ、家族全員で食べた。
④ その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
朝と昼の気温の差が激しく、体調を崩しやすい。夏は紫外線が強いので、その対策も必要。

## お金の管理について

①	一ヶ月にどのくらいの生活費が必要でしたか？どのくらいの現金が必要でしたか？
	70,000 円くらい。交通費が高い。物価も高い。主に、放課後に友達とカフェなどに行く時に使った。 昼食は、スーパーで安いものを買って節約するようにした。 友達と割り勘にすると、現金が必要。
②	クレジットカードや国際キャッシュカードなど、何を使用していましたか？
	クレジットカードを使用。 キャッシュレスのお店が多々あった。
③	その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
	クレジットカードは必須。

## 健康管理について

①	渡航中の健康管理や体調について気になったことがあれば記載してください
	ホストマザーがコロナウィルスにかかり、自宅隔離だったが、消毒等を徹底し、うつらずに済んだ。
②	医療機関を利用しましたか？利用した場合は、その時の詳細を教えてください。
	利用しなかった
③	その他(次年度の派遣学生へのアドバイス)
	寒暖差に注意が必要。

## その他

	携帯電話・Wifi 等について、どのようにしていたか教えてください。(現地で〇〇円で購入した、など)
	メルボルンに着いてすぐに、SIM カードを購入した。電話は Line 電話を使用していた。
	留学に持っていった方が良いもの、持っていく必要が無かったものについて教えてください。
	クレジットカード
	留学先を選んだ基準と、実際に留学してみてどうだったかを教えてください。
	レベルが細かく分かれており、自分に適したレベルの授業を受けることができると思い、ビクトリア大学を選択した。 挑戦することが大事だと学んだ。英語だけではなく、異文化の違いを知ることができ、いろいろ発見があり、貴重な体験ができたと感じた。留学してよかった。